

「コメ袋を使用したエコバック制作」の例

女性部がエコバッグ



米袋で作ったエコバッグを持つ谷口支部長④ら

岐阜・JAひだ

米袋で軽く

【岐阜・飛騨】JAひだ女性部は、新型コロナウイルスの影響で、紙上での開催に踏み切った

「第25回JAひだ農業まつり」を、手作りエコバッグで盛り上げる。祭りの企画として30、31の両日に開く「飛騨の農畜水産物フェア」に合わせ、30日限定でAコープとアグリ高山の計15店舗を対

象に、各店舗で2000円以上購入した利用者先着10人にプレゼントする。

エコバッグは、同女性部が進める環境に配慮した「Re:マイバッグ運動」の一環で、米袋を利用して製作した。10月中旬に、同JAの女性部員と職員ら約20人が150個を作った。エコバッグの利用でプラスチックごみの削減につなげ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みにも結び付ける。

同女性部高山支部の谷口弘子支部長は「軽くておしゃれなエコバッグ。物がたくさん入って使いやすいので、気軽に使ってもらえたらうれしい」と話した。

「ブルーシートを使用したエコバック制作」の例

お手製エコバッグ



ブルーシートで
丈夫、シンプル

岐阜県・JA
ひだ女性部

岐阜県のJAひだ女性部
萩原支部の青木三千代さん

(70)と青木たず子さん
(70)は、7月から始まる
レジ袋の有料義務化を前
に、ブルーシートを使いエ

コバッグを作った青木た
ず子さん④と青木三千代さ
ん(右から2人目)(29日、
岐阜県下呂市で)

コバッグを自作した。丈夫
でぬれにも強い。シンプ
ルなデザインで、男性でも買
い物や農業現場で使いやすい
として、今後、女性部内
などで作成・利用を広げて
いきたい考えだ。

エコバッグは、荷物を運
ぶのを助けるという意味で
「荷助袋(ニースケバッ
グ)」と命名した。使い勝
手を考えて、面ファスナー
で簡単に開け閉めできる工
夫をした。

ブルーシートの規格は大

きさが多様で、用途に合わ
せてエコバッグのサイズも
自由に設定できる。買物
だけでなく、農作業でも野
菜の収穫や運搬など、汚れ
を気にせず使うことができ
る。

青木三千代さんは「男性
の人でもデザインを気にす
ることなく使える。女性部
活動を通して、環境に配慮
した姿勢や取り組みが広が
るきっかけになればいい」
と話した。

「使用済み農業用廃プラスチックの回収」の例

7/17~19 当JA各カントリー

環境に優しい農業を推進 廃棄ビニール・ 廃棄プラスチックを回収



当JAは環境に優しい農業を目指し、廃棄する農業用ビニールや農薬の空容器などを回収しました。7月17日に揖斐カントリー、18日に池田カントリー、19日に大野カントリーで実施し、3日間で廃棄ビニール約1・1t、農薬のプラスチック空容器約1900本、不要な苗箱3350枚を回収しました。計量・分別後回収業者へと引き渡しました。

JAが「適正な処理」呼びかけ 使用済プラスチック資材を回収

JAひがしみの12月初旬、各地で農業用使用済プラスチック資材の回収を行いました。使い終わったビニールハウスのビニールやマルチ、肥料袋、育苗箱、ポットなど、廃棄物処理法で産業廃棄物に指定されている資材約28tを回収しました。

JAでは、県市行政と連携して環境に配慮した農業を推進しています。

各地で農業用使用済プラスチック資材を回収

